



七ヶ宿中学校

望湖克己学館だより

【学校教育目標】 「社会をつくり、たくましく生き抜く生徒の育成」

宇検村交流事業に参加してきました！

8月6日(火)から9日(金)までの3泊4日の日程で、1・2年生が鹿児島県の奄美群島にある宇検村を訪問しました。この事業は、毎年夏に七ヶ宿町の中学1年生が宇検村を訪れ、冬には宇検村の中学生が七ヶ宿町を訪れ、互いに交流を深める町の行事です。昨年度は、台風の影響で交流事業が中止になったため、今年度は1・2年生と一緒に参加することになりました。

主な活動内容は、1日目は大島紬村見学とTシャツの泥染め体験、2日目はタエン海水浴場で宇検村の中学生と交流しながらシュノーケリングやバナナボート、カヤック体験、3日目はマングローブ林体験と世界自然遺産センター見学、4日目は宇検村役場訪問などでした。

生徒達は、事前にリモートで宇検村の中学生と交流会を行いながら、当日をとても楽しみにしていました。実際に訪れた宇検村では、南国特有のきれいな空と海に感動し、七ヶ宿ではできない様々な体験をしました。地元の中学生との活動では、時に文化や環境の違いに驚きながらも、和やかに交流をしていました。この貴重な経験を生かし、これからの学校生活や人生の中で自分の視野や考え方を広げていってほしいと思います。



庄子凌功君、県大会出場

卓球部の庄子凌功君が、7月23日(火)に県中学校総合体育大会卓球競技の個人戦に出場しました。七中からは唯一の県大会出場者です。会場の青葉アリーナには、卓球部全員と校長先生、学年主任の山本先生も応援に駆け付けました。これまで3年間培ってきた練習の成果を発揮して試合に臨みましたが、あと一歩力及ばず初戦敗退となりました。しかし、凌功君の戦う姿や県大会のレベルの高さ、会場の雰囲気など、1・2年生にたくさんの財産を残してくれたと思います。今後は、先輩たちの意思を引き継ぎながらも、1・2年生で新たに自分たちの部活動をつくってほしいと思います。



生徒会レク 楽しみました！

夏休み前の7月16日(火)に全校生徒と教職員で生徒会レクリエーションを行いました。企画、運営を実行委員が担当し、今年度は「人狼ゲーム」と「ドッチボール」を皆で楽しみました。

「人狼ゲーム」は村人陣営と人狼陣営に分かれて、自分の陣営の勝利を目指します。村人陣営は議論を重ね、誰が人狼なのかを推理し、人狼陣営は正体を隠しながら、村人陣営の議論を混乱させます。心理的な駆け引きが面白いゲームです。「ドッチボール」は小学校でも行っておりましたが、中学生の体力を考慮し、けがの無いように空気を抜いたやわらかいボールでプレイしました。生徒も先生も時間を忘れて、楽しいひと時を過ごしました。



七ヶ宿小学校
学校だより

七つの里

【学校教育目標】 かしこく、やさしく、たくましい児童の育成

仲間と学び、絆を深めた「歴史発見の旅」

7月4日(木)から5日(金)まで、5・6年生11名が1泊2日の「歴史発見の旅(修学旅行)」に行ってきました。当日は天候にも恵まれ、体験や見学を通して実感を伴いながら会津の歴史や文化について学ぶことができました。また、会津の人々の人柄に触れることができ、児童は「みんな、優しく接してくれた。」と感想を述べていました。人として大切な思いやりに触れたことも、児童にとって貴重な学びの一つです。ホテルでは、周りの宿泊客が心地よく過ごせるよう、食事のマナーや部屋での過ごし方を工夫するなど、公共の場でのマナーに気を付けながら生活することができました。2日目の日新館見学では、「ならぬことはならぬものです。」に代表される「仕の掟」について、講師の話を熱心に聞いていました。当時の会津の子供たちが勉学に励み、切磋琢磨しながら武士道を学んだ話は、児童の心を打ちました。この2日間の経験を通して、会津の歴史だけでなく、人と人の関わりについて多くを学び、さらに11名の絆につながりました。

自主研修「昭和なつかし館」



自主研修「赤べこ絵付け体験」



ホテルでの「夕食バイキング」



ホテルの部屋での自由時間



会津藩校「日新館」見学



檜原湖での「モーターボート体験」

たくさん水に親しんだ水泳教室

7月9日(火)、11日(木)、17日(水)に水泳教室を実施しました。白石市のスポーツメイト白石蔵王のプールを借用して活動しました。2年生以上の児童は、昨年度経験したことをすぐに思い出し、はじめからスムーズに活動に入ることができました。みんな、少しでも泳力を伸ばそうと、プールの約束事を守りながらしっかりと練習していました。初めて大きなプールに入った1年生も、プールフロアがあるおかげで、安心して活動することができました。水中ぶくぶくや石拾いなど、楽しんで挑戦していました。水に慣れ自信が付いたためか、最終日には「もっとやりたい。」と声が挙がるほどでした。

